

## 5月学院福音化、第4課

「レムナントが成し遂げたヨルダン事件」(ヨシ3:1-13)

“ヨシュアは祭司たちに「さいし　けいやく　はこ　かつ　たみ　せんとう　た　わた　めい」と命じた。そこで彼らはかれ　けいやく　はこ　かつ　たみ　せんとう　た　すす契約の箱を担ぎ、民の先頭に立って渡りなさい」と命じた。そ

主はヨシュアに告げられた。「きょう　ぜん　め　まえ　おお今日から全イスラエルの目の前で、わたしはあなたを大いなる者とする。わたしがモーセとともにいたように、あなたとともにいることを彼らが知るためである。”(ヨシ3:6~7)

パウロはイスラエルの民が紅海を渡った事件を「バプテスマ(洗礼)」だと話します。

“きょうだい　たみ　こうかい　わた　じけん　せんれい　はな兄弟たち。あなたがたには知らずにいてほしくありません。私たちの先祖はみな雲の下にいて、みな海を通って行きました。そしてみな、雲の中と海の中で、モーセにつくバプテスマを受け、”(Iコリ 10:1~2)

バプテスマとは、ふる　ひと　し　あたら　い　かえ　い　み古い人が死んで新しいのちで生き返ることを意味します。イエスとともに死んで、イエスの復活とともに再び生き返ることです。

“それとも、あなたがたは知らないですか。キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた私たちはみな、その死にあずかるバプテスマを受けたのではありませんか。

私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。それは、ちょうどキリストが御父の榮光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、新しいのちに歩むためです。”(ローマ 6:3~4)

こうかい　けいけん　あらのせだい　やくそく　ち　はい　やくそく　う  
紅海を経験できなかった荒野世代に、約束の地に入るにあたって、どのように約束を受  
けた者になったのか、どのように救われるのかを説明するためにヨルダンを渡らせたので  
す。契約の箱を担いだ祭司たちが先頭を行きました。契約の箱も祭司も、すべてイエス・  
キリストを象徴します。後日、イエス様が公生涯を始める前に、このヨルダン川でヨ  
ハネによってバプテスマを受けます。ヨハネのバプテスマは、罪を赦す救いのバプテスマ  
ではなく、罪人であることを告白する悔い改めのバプテスマです。イエス様がバプテス  
マを受けられたのは、罪を背負って死ぬべきさしがれ物に罪人の罪が転嫁(自分の罪・責任  
などを他になすりつけること)されるように、罪人と連合されたためでした。

せいしょ　ひと　はな　にんげん　どりょく　こうい　いっしょうけんめい  
聖書はただ一つのことを話します。人間のあらゆる努力や行為、一生懸命さではな  
く、イエス・キリストの十字架を通してのみ救われることを。ヨルダンの事件もまた、イ  
エス・キリストの十字架の恵みによって得られる救いを説明することなのです。